

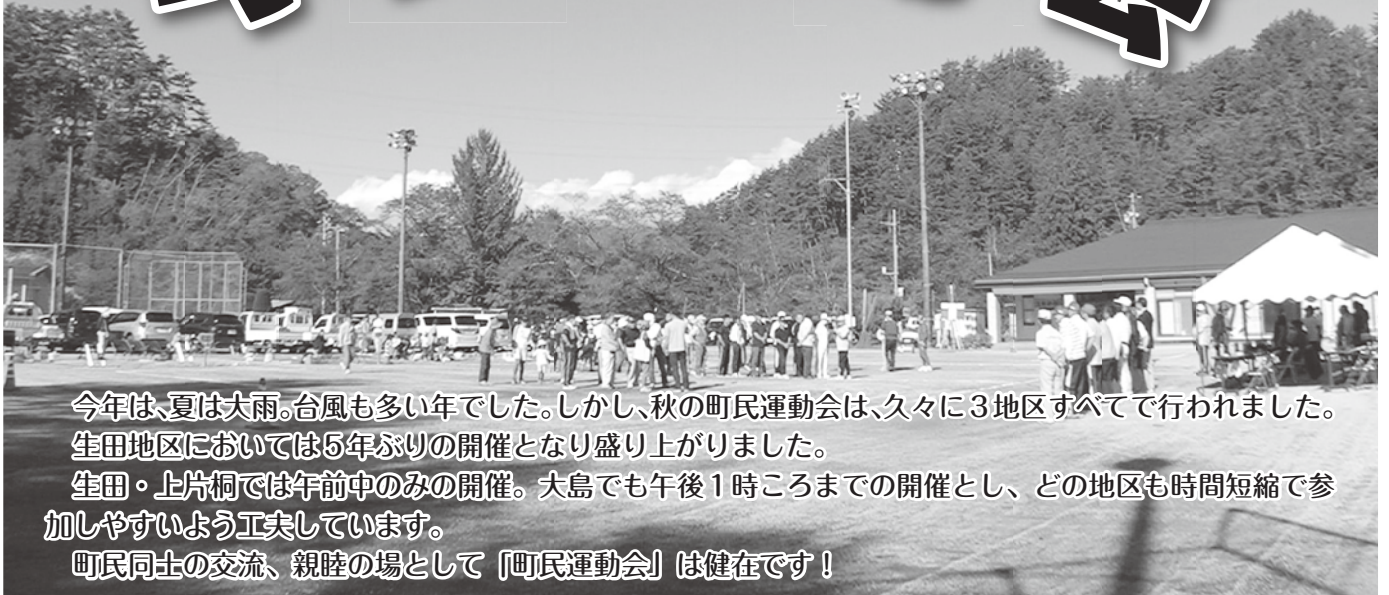


館報 まつかわ

松川町公民館報
第661号
平成30年11月15日

町の川 ⑦
大横沢川 (西山)

町民運動会



今年は、夏は大雨。台風も多い年でした。しかし、秋の町民運動会は、久々に3地区すべてで行われました。生田地区においては5年ぶりの開催となり盛り上がりました。生田・上片桐では午前中のみ開催。大島でも午後1時ころまでの開催とし、どの地区も時間短縮で参加しやすいよう工夫しています。町民同士の交流、親睦の場として「町民運動会」は健在です！



★今年は風が強くてムズカシイ！



上片桐地区
10月7日



★くぐり方は、ひとそれぞれ



大島地区
10月8日



★ぐるぐる…ドッシーン!

ファイト!



★上手くとれるかな?



生田地区
10月8日



★“生田”の字を作ります



★晴天に向けて、そーれ!



実り豊かに

松川町文化祭実行委員長
木村 寛

平成最後の秋、色とりどりに花が咲き、豊かな実りが実現できました。

花の色はあざやかでした。空手演武、ダンス、日本舞踊、ギター、尺八、大正琴、詩吟、よさこい囃子踊りなどなど。

最初から最後まで、ずっと見ていくくださった方も、足がないからとタクシーで来てくださったかたもいらつしやいました。感謝いたします。

果実は熟していました。木彫、水墨画、樹木や花、イラスト、短歌に俳句、人形、写真、絵画、書などなど。研究・調査報告も、小中高校生の作品もお寄せいただきました。



1日目は、展示用パネルを設置することから始まりです。町の芸術家諸姉諸兄が、自分の作品を公開するための舞台を、自ら作ることに始めます。体育館全面にパネルを設置し終わってからは、各自が作品を搬入して展示します。文化協会と各クラブが主体となつて企画・運営している、意義深い、価値ある文化祭です。



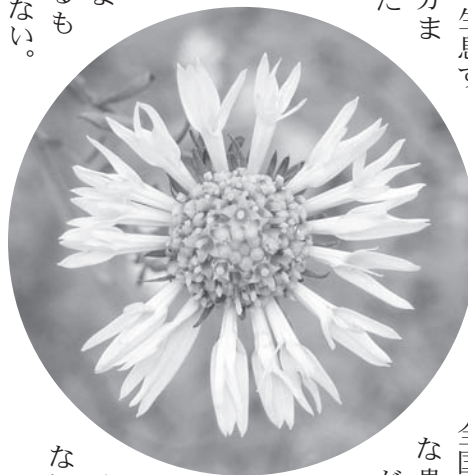
試練の時

ツツザキヤマジノギクの保護

松川町の天然記念物であるツツザキヤマジノギクが、今年は花が少ない。天竜川の河原に見られる花だが、7月の大雨で天竜川の水位が増し、ツツザキヤマジノギクが息を止める河原部分まで浸水したため。

水に流されそうになりながらも、耐えて横たわったまま咲いているものも少なくない。

しかし、それでも今年はまだ良い。1年目に芽を出したツツザキヤマジノギクは、ロゼットと呼ばれる小さな芽の状態で越冬し、2年目に大きく伸びる二年生草だ。そのため河原に泥や砂が多く堆積した今年、多くのロゼットが埋もれてしまった可能性がある。となると、来年は花を咲かせるかどうか、とても心配になる。



はじめは社会教育委員の皆さんが中心となつて保護を行なってきたが、今では保全協議会も立ち上がり、みんなで守ろうという動きが活発化してきている。

全国的にもまれな貴重な植物が今後も松川町で生き残つていくには、大勢の人たちの手を借りなければならぬ。

みんなで守ろう！
ツツザキヤマジノギク

ツツザキヤマジノギク 開花株数の変遷 (保護区画)

H24	66
}}	}}
H28	1354
H29	1405
H30	745

スポーツ

あづみ野松川 小学生駅伝

10月6日(土)に大北陸上競技場であづみ野松川小学生駅伝が行われました。結果はつぎのとおり。

参加22チーム中10位



ハイランニング通信



◇第5回大会の開催日が決定

されました。

11月1日に行われた全体実行委員会にて来年度第5回大

会は、2019年9月8日(日)の開催となりました。

町民の皆様には、交通規制

並びに当日のスタッフとして



第47回 南信少年柔剣道大会

10月7日(日)に岡谷市民総合体育館で第47回南信少年柔剣道大会が行われました。結果はつぎのとおり。

剣道の部

個人戦

小学校5・6年の部

第3位 橋場 光平

中学生男子の部

準優勝 平島 颯人

大変お世話になりますが、ご理解ご協力をよろしくお願いいたします。

◇大会に関するご意見等をお寄せください。

実行委員会では町民の皆様

のご意見並びにご提言等をお

待ちいたしております。ラン

ナーアンケートやスタッフア

ンケートと共に参考にさせて

いただき、松川町らしい〴〵お

もてなしの大会」となります

よう改善を図ってまいります

と思いを。

◆お問合せ

大会事務局(町民体育館内)

電話 48-6713

FAX 48-6714

電話 48-6713

団体戦の部
小学生低学年の部

準優勝 松川Aチーム

先鋒 平島 康貴

次鋒 熊谷 俊祐

中堅 岩崎 楓可

副将 杉山 太一

大将 林 翔太

中学生男子の部

準優勝 松川Bチーム

先鋒 熊谷 眞綱

次鋒 長砂 秀飛

中堅 大場 楓希

副将 平島 颯人

大将 橋場 光希



バスケット 復活!

日時: 毎週金曜日20時~21時30分
場所: 松川中学校体育館
料金: 社会人100円、学生無料

年齢、性別、所属チーム、経験不問。
バスケットが好きの方、興味のある方、運動不足を解消したい方、
バスケットボールで楽しい時間を過ごしませんか?
初心者、親子での参加大歓迎です。

BFT Basketball Fun Time

お問い合わせ: 中央公民館 電話36-2622



長野県公民館功労者表彰
堀木 拓也さん

平成30年度 公民館活動推進功労者表彰で下垣外南部の堀木拓也さんが表彰されました。



研究集会で発表する堀木さん

松川町公民館本館の社会部員として12年間の長きにわたる活躍された堀木さん。消防団活動と重なりながらも社会部の活動に取り組んできました。

社会部の活動といえば、あいさつ運動や音楽祭、以前は映画の上映や人形劇と多くの子どもたちと接する活動が多く、そんな中で子どもたちの

元気な姿や、笑顔を見られることが一番の楽しみだったそうです。
様々な行事があり苦勞した部分も多かったのですが、子どもから大人まで幅広い世代間の交流のできる公民館活動の中で過ごせた12年間は堀木さんにとってかけがえのない時間だったようです。



社会部を背負ってきた背中長い間お疲れ様でした！

うたのしみの詩

松川北小6年

たのしみは直ハいぬのよなマカット
ロリっはいにほおぶる時



市瀬勝英

たのしみはオレンヅムかりぼくと歌
ワイワイ歌う楽しい時



片桐 聖王也

たのしみはひかるあせかき親せきと
星でる夜にテニスする時



竹村 ほのか

たのしみは緑の川を流れてく
白い糸をすくう時



中村 航乃

たのしみは友達の輪が広がって
ワイワイしゃべり図書館へ行く時



森谷 彩衣

俳句

独 楽

鋤柄 郁夫(宮坂)

初雪やべんべん草のそれぞれに
北風や決意の星の流れけり
孫の名をまず書きてみる筆始
漫才も落語も半端よろけ独楽
犬ふぐり青色青光空の色

乳幼児の心と身体を育てる

リトミック

体験・見学 大歓迎

音楽で

遊びながら
まなぶ

会員募集!

「リトミック」は、音楽に合わせて身体を動かすことにより豊かで可能性あふれる子ども達の心と身体を育てます。

お父さんとパパ・ママがいっしょに音楽を感じ、身体を動かすことにより、たくさんの「たのしい！」を共感できます。

講師：NPO 法人日本こども教育センター認定
リトミック講師 北原 和子

問い合わせ：携帯 090-3585-5242 ※公民館事業ではありません。

上新井地区公民館五十周年

上新井地区公民館が五十周年を迎え、9月17日区民演芸会にあわせて記念式典が開催された。当日は80名ほどの参加者があり、世代を越えてなごやかな時を過ごした。

大きな節目を迎えて

上新井地区公民館長 福島 清美



上新井地区公民館は昭和44年、区会から離れ専任の分館役員体制になって以来、今年度で五十周年という大きな節目を迎えることができました。

今日の礎を築いて頂いた歴代の地区館役員の皆様、さらにこの地区館を支えてくださった区民の皆様、深く感謝と御礼を申し上げます。

この地区館の半世紀を振り返ってみますと、松川町公民館上新井分館として発足し、

昭和63年に上新井地区公民館となり、歴代の館長も私で17代目となります。また、公民館活動にたずさわって来られたスタッフの方々は222名にも及びます。これもひとえに歴代の諸先輩の皆様が脈々と引き継がれてきた永い歴史と伝統を大切に公民館活動を行ってきたからこそ今日があると思います。このご尽力に対して心より感謝と敬意を表します。これからもこの地区館を「高齢者から子どもさんまで気軽に参加しふれあう」を基本に生涯学習の場として、交流の場としてまた、災害時の避難場所として大いに利用していただきたいと思います。

上新井区がそして松川町が益々繁栄していくことをお祈り申し上げます。



三役の水戸黄門



七榻保存会による獅子舞



手打ちそば振るまい



双葉保育園のダンス



2020年

2人目の孫が生まれた。まだ生後1ヶ月にもならないが、日に顔の表情が変わり、「だいぶしっかりしてきたなあ」と可愛さがさらに増してくる。先日生後半月の検診で、「退院してから体重が1日当たり平均36g増えている」と言われたそうだ。子どもの成長は早いものだと思う。

1人目の孫は3才になる。よくしゃべる。「○○がやる」と言っていて、なんでも自分でやっていたがる。活発な子だ。その孫に妹ができて、だっこをせがんだり、「ばぶばぶ」とふざけて言ったりすることがある。子どもが成長していくのは、行きつ戻りつの繰り返しなのだと考えて、周りの大人が広い心で接することが必要なのだと思う。

この孫たちが成人式を迎える頃はどのような社会になっていることだろう。平和で一人ひとりが大切にされる社会になっていてほしいが、そうなるように私達がするべきことは多いように思う。

小沢 誠

公民館報

「まっかわ」

第 661 号

平成30年11月15日

発行所 松川町公民館

責任者 小沢 誠

編集人 公民館編集部

Tel 36-2622

e-mail: c.kouminkan@matsukawa-town.jp

飯田市上郷黒田121

印刷所 龍共印刷(株)

再生紙を使用しています。